本を楽しむ

ノンフィクションランキング

●八重洲ブックセンター本店＝1月24～30日

1 小保方晴子『あの日』（講談社）
2 イモトアヤコ『イモトの元気の素　88の言葉』（日経ＢＰ社）
3 姜尚中『君に伝えたいこと』（自由国民社）
4 石原慎太郎『天才』（幻冬舎）
5 佐藤智恵『ハーバードでいちばん人気の国・日本』（ＰＨＰ研究所）
6 ジョンソン祥子『えがおのゆくえ』（新潮社）
7 前野隆司『無意識の整え方』（ワニブックス）
8 森田修、マルコム・ヘンドリックス『ビジネス英語ライティング・ルールズ』（日本経済新聞出版社）
9 日高義樹『戦わない軍事大国アメリカ』（ＰＨＰ研究所）
10 伊藤博之、柴田さなえ『男と女のワイン術　２杯め』（日本経済新聞出版社）

記者のひとこと　2の著者は身体を張った海外ロケで知られるお笑いタレント。「顔立ちは生まれつき、顔つきは作るものよ」「大丈夫　きっと全てはうまくいく」。彼女を鼓舞してきた言葉に、励まされる。（敬）

月 本
火 音楽美術
水 笑い
木 劇場
金 伝統芸能
土 放送芸能
日 話題

新刊ピックアップ

●山本明弘著『和家具をたのしむ』　明治から昭和30年代ころまで一般の家庭で使われていた和家具。東京・下北沢で70年続くアンティーク和家具店の３代目店主が、ちゃぶ台や簞笥などに見る職人仕事の確かさ、使い込んだ味わいを生かす再生の極意、その魅力や居心地の良さをイラストや写真で紹介。時代遅れだと思っていた家具の、現代の暮らしや懐具合に合わせた楽しみ方を発見できる。（洋泉社・1836円）

●ヨンネ著『はじめて手でつくる本』　手間さえいとわなければ、本だって作れる。色糸を使った中綴じや和綴じの本、自分だけの手帖やアルバム、豆本やハードカバーさえも。そんな数々の本や小物の作り方の工程、テクニックを丁寧に写真で紹介する。気に入った紙や布を選んで、デザインを考え、思い出や好みの世界のつまった器を手作りする。素材や道具を揃える店のリストも。（エクスナレッジ・1728円）

●福田育弘著『新・ワイン学入門』　ブドウ栽培に不利とされてきた高温多湿の日本で最近、おいしいワインが生まれている。なぜ？　温暖な地中海から離れた地に世界屈指のワイン生産地を擁するフランスと比較しながら、歴史・地理・醸造法など多角的に考察。洗練された個性的なワインを造るのは自然条件だけでなく、その地に生きる人や文化だとの結論は、日本ワインへの励ましにもなる。（集英社・1296円）